

午前午後

時

分

※ 消えるボールペンで書かないでください。

離婚届

令和 年 月 日届出

大阪府守口市長 殿

受理 令和 年 月 日

第 号

書類調査戸籍調査記載調査調査票附票住民票通知

(フリガナ)

氏名

夫モリグチ氏守口 一郎

妻モリグチ氏守口 和子

カズコ

生年月日

昭和50年7月15日

昭和50年8月10日

住所

大阪府門真市中町1番1号

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

住民登録をしているところ

本籍

大阪府守口市京阪本通2丁目5番地番

外国人のときは国籍だけを書いてください

父母及び養父母の氏名父母との続き柄

夫の父浪速 次郎

続き柄長男

妻の父大阪 良男

続き柄二女

母守口 花子

養父守口 太郎

続き柄養子

養母

養女

離婚の種別

協議離婚

調停

審判

和解

請求の認諾

判決

婚姻前の氏にもどる者の本籍

夫は

妻は

もとの戸籍にもどる

新しい戸籍をつくる

未成年の子の氏名

夫が親権を行う子守口 大輔

妻が親権を行う子守口 優子

同居の期間

昭和平成令和15年5月から昭和平成令和3年8月まで

同居を始めたとき

別居したとき

別居する前の住所

大阪府守口市京阪本通2丁目5番地番5号

別居する前の世帯の主な仕事と

1. 農業だけまたは農業とその他

2. 自由業・商工業・サービス業等

3. 企業・個人商店等(官公庁は日々または1年未満の契約)

4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)

5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯

6. 仕事をしている者のいない世帯

婚姻で氏が変わった人が、離婚してもそのまま氏を使い続けたい場合は、「離婚の際に称していた氏を称する届(戸籍法77条の2の届)」を同時に提出してください。

届出人署名

夫守口 一郎 印

妻守口 和子 印

事件簿番号

記入の注意

協議離婚の場合は、証人が2人必要です。
協議離婚とは、裁判を行わず、夫婦の話し合いで離婚することです。
証人は、成人であればどなたでもなることができます。

証人 (協議離婚のときだけ必要です)

署名

守口 花子 印

大阪 良男 印

(※押印は任意)

生年月日

昭和20年5月10日

昭和25年9月24日

住所

大阪府寝屋川市本町1番1号

大阪府大阪市北区中之島1丁目3番20号

本籍

大阪府守口市京阪本通2丁目5番地番

大阪府大阪市北区中之島1丁目3番地番

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。
今後も離婚の際に称していた氏を称する場合には、左の欄には何も記載しないでください(この場合にはこの離婚届と同時に別の届書を提出する必要があります。)

(4) 欄は、婚姻の際に氏を変更した人が記入する欄です。
下の例は、妻が婚姻の際に氏を変更した場合です。

①旧姓にもどり、婚姻前の戸籍にもどる場合(筆頭者は父母等になります)
(もどる戸籍が除籍の場合は、②の「新しい戸籍をつくる」ことになります)

婚姻前の氏にもどる者の本籍

夫は

妻は

もとの戸籍にもどる

新しい戸籍をつくる

フリガナ

オオサカ

ヨシオ

筆頭者の氏名

大阪 良男

②旧姓にもどり、新しい戸籍をつくる場合(自身が筆頭者になります)

婚姻前の氏にもどる者の本籍

夫は

妻は

もとの戸籍にもどる

新しい戸籍をつくる

フリガナ

オオサカ

カズコ

筆頭者の氏名

大阪 和子

③旧姓にもどらず(婚姻中の氏のまま)、新しい戸籍をつくる場合
※この場合、「離婚の際に称していた氏を称する届(戸籍法77条の2の届)」を同時に提出する必要があります。

婚姻前の氏にもどる者の本籍

夫は

妻は

もとの戸籍にもどる

新しい戸籍をつくる

フリガナ

筆頭者の氏名

記入の必要はありません

この記載例は、届出件数の多い事例になります。
ご不明な点がございましたら、戸籍担当までお問い合わせください。